

APRUマルチハザードコアグループ会合を開催しました (2018/07/28)

テーマ：APRU, 国際連携

場所：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

2018年7月28日に、当研究所にてAPRUマルチハザードコアグループ会合が開催されました。会議にはUCデービス、ハワイ大学マヌア校、フィリピン大学、国立台湾大学、山梨大学、早稲田大学、東北大学、APRU事務局からコアグループメンバー10名が参加しました。

APRUマルチハザードプログラムコアグループ議長を務める当研究所の村尾修教授（地域・都市再生研究部門）が議事進行を担当し、冒頭で、今村文彦所長（災害リスク研究部門）が開会の挨拶を述べました。その後、APRU事務局のプログラム・政策ディレクターのChristina Schonleber氏から、マルチハザード以外のAPRUのその他のプログラムや事務局の活動について報告があり、その後、マルチハザードプログラムディレクターの泉貴子准教授（地域・都市再生研究部門）がマルチハザードプログラムの昨年度の活動・成果等について発表しました。

加えて、昨年のNASAとUCデービス主導により仙台で開催された「津波早期警報に関する会議」についての報告、サマースクールのレビュー、マルチハザード年次シンポジウムへの参加について、2019年世界防災フォーラム、APECとの連携などについて活発な議論が行われました。

最後に、今後コアグループ間の意見交換をより頻繁に行うために、定期的に電話やビデオ会議を開催し、アメリカ、オーストラリア、中国などからのより活発なコアグループ活動への参加を呼びかけることに合意しました。



会議の様子



全体写真

文責：泉貴子（地域・都市再生研究部門）